

第三者評価結果

事業所名：にじいろ保育園中山

A-1 保育内容

| A-1- (1) 全体的な計画の作成 | 第三者評価結果 |
|--|---------|
| <p>A-1-(1)-①</p> <p>【A1】 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。</p> | a |
| <p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童憲章や児童の権利に関する条約を踏まえたうえで、全体的な計画の作成を行っている。全体的な計画は理念や基本的な保育方針も踏まえており、当園の地域環境や特徴、園児と家庭状況なども考慮しつつ作成している。全体的な計画をもとに年間指導計画の作成を行っており、職員会議などで職員間の検討を行い、職員の意見を反映させている。 ・年間指導計画をもとに月案、週案、日案の各計画を作成しており、作成時には主任や園長での確認を行って必要に応じて作成のアドバイスや指導などを行っている。月案、週案、日案の各計画のモニタリングをもとに年度4期ごと3か月毎に年間指導計画の振り返りを行っている。それをもとに年度末には全体的な計画の振り返りを行い、次年度の計画に反映させるようにしている。 ・園内全体で各計画のモニタリングを行うことによって、計画に沿った保育が行えるようになってきている。 | |
| A-1- (2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開 | 第三者評価結果 |
| <p>A-1-(2)-①</p> <p>【A2】 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。</p> | a |
| <p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策や園の状況などを踏まえ、清掃や換気を行って温度、湿度などにも考慮し快適に過ごせるように努めている。朝には園内の廊下や共有部分、園周り、園庭などの清掃を行い、食事場所は食後、クラス全体はおやつ後、トイレは午睡中と園児の帰宅後に行うなどして、定期的な園内の清掃時間を設けている。また、汚れがみられた際は都度での清掃を行うようにし清潔な環境作りに努めている。 ・乳児が使用する布団などはレンタルされており、年2回消毒のための交換を行っている。また、シーツは週末に保護者が洗濯するようにしており、汗をかいた場合には都度で干している。乳児が使用する遊具などは、毎日、保育後に次亜塩素酸ナトリウムを含む殺菌消毒剤で消毒を行っている。 ・園児が落ち着かない様子がみられる際には、保育室の奥まった絵本コーナーなどで個別対応で過ごすこともでき、場合によっては園の事務所での対応を行うこともある。 | |
| <p>A-1-(2)-②</p> <p>【A3】 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。</p> | a |
| <p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入園時での保護者からの家庭調査票や保護者との個別面談をまとめた書式などを、職員間で共有化を図り把握したうえで保育を行うように努めている。保護者との登降園時でのコミュニケーションや連絡帳などから、園児の家庭での様子や生活リズムを把握して、ミーティングなどで職員間で共有している。 ・日々の園児たちの園での様子や園児同士の会話、職員との会話などを観察し、その内容を発達経過記録などに記録し職員間で共有して、各計画に反映させ保育が行えるようにしている。園児たちの意欲や自信につながるような対応を心がけ、苦手なことは一緒に行ったり、無理強いをしないようにし、見守りや寄り添った対応など、園児一人ひとりに合った接し方に努めている。 ・園児たちが前向になれるような声かけに努めており、声のトーンや大きさ、正しい言葉づかいなどに配慮している。また、否定的な言葉やせかさうな声かけを行わないようにしている。 | |
| <p>A-1-(2)-③</p> <p>【A4】 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。</p> | a |
| <p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、姿勢、食事、排泄、着替えなどの基本的な生活習慣が身につくように、職員が率先して行っている。園児たちの「やってみよう」と思う気持ちを重要視して、時間と環境に余裕を持たせられるように努めて、「できた」に繋がるようにしている。また、「できた」に繋がった場合には、職員も園児と一緒に喜びを共感して自信に繋がるようにしている。 ・園児一人ひとりの発達や様子に合わせて、臨機応変に活動内容や時間を調整しながら園児たちが無理なく過ごせるように努めている。手洗い方法やトイレの使い方などは、掲示することによって園児たちが視覚的にも理解ができるような工夫を行っている。 ・進級した際には、環境の変化などにより、園児たちに戸惑いが出る場合があるため、丁寧に対応する配慮とともに、多くの職員が園児たちに接することができるようにし、必要に応じて個別対応が行えるようにしている。 | |

| | |
|---|---|
| <p>【A5】 A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。</p> | a |
| <コメント> | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・園児が主体的に活動ができるように、好きな遊びを自由に選択できるコーナーを設定し、園児一人ひとりが遊びこめる環境作りに配慮している。様々なコーナーを設定しており、絵本、ぬり絵、折り紙、絵画、電車、ブロック、粘土、おままごとなどの玩具をコーナーごとに用意している。また、ごっこ遊びなどを行うことにより、園児の創造性や社会性などが育まれるようにしている。 ・戸外遊びでは身体を動かす遊びを中心に行っており、戸外活動を通して交通ルールなども学べる場にもなっている。豊かな自然環境を活かして、植物、生物の育成を通し、気づきや命の尊さが学べるようにしている。 ・園の同建物内には高齢者施設が併設されている。コロナウイルスの影響により対面交流は行えていないが、5歳児を中心に手紙などでの交流を行っている。また、近隣の消防署や警察署の協力のもと、園児たちが仕事内容に触れられる経験を設けている。 | |
| <p>【A6】 A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p> | c |
| <コメント> | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・0歳児の対応なし。 | |
| <p>【A7】 A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p> | a |
| <コメント> | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・園児たちの「やってみたい」という気持ちを大切に受容しながら、職員と一緒にいたり、見守りながら状況や発達などに合わせて声かけを行い、自分で行える環境を整えている。室内は探索活動ができる十分なスペースや時間の確保に努め、目線などを考慮して玩具の配置の設定も行っている。戸外活動においては、危険なものがないかの確認をしたのちに遊びを開始するようにしている。 ・園児の遊びの中に職員も混ざり、「貸して」「入れて」「ありがとう」「どうぞ」などの分かりやすい言葉を使うことで、園児同士での関わりが楽しいと感じられるように仲立ちをしている。 ・乳児クラスと幼児クラスの園児たちが関わりが持てるように、散歩や公園遊びの際には日頃から異年齢での活動を取り入れている。また、朝や夕方の延長保育時にも合同保育を実施している。 ・登降園時での保護者とのコミュニケーションや連絡帳、情報共有アプリなどにより、保護者と日々の園児の様子などの情報交換に努めている。 | |
| <p>【A8】 A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p> | a |
| <コメント> | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのことや集団活動、当番活動など日常の活動を通して、「やってみたい」という気持ちから「できた」に繋がるようにして、園児たちの意欲や自信を引き出すように努めている。 ・コーナー遊びでの遊びこめる環境のほかにも、物事を集中して行えるよう机などを設定して活動を行うようにしている。幼児クラスとはパーティションの開閉を行えるようになっており、必要に応じてクラスごとでの活動や異年齢との活動を取り入れている。年長児に対しての憧れが持てたり、年少児に対しての優しさなどが培われるねらいとなっている。 ・5歳児は友達と一緒に協力して作り上げる活動を通して、園児同士での考えや意見交換が行えるようにし、お互いの気持ちを理解しながら、みんなでやり遂げる場を設けている。職員が園児同士の仲立ちをしている。小学校入学に向けての活動として、園児たちと小学校でのお手紙交換などの交流を行っている。また、園児たちには小学校に対する意見が言えるような場も設けている。 | |
| <p>【A9】 A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p> | a |
| <コメント> | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・広いならかな螺旋階段や2段式の手すり、点字の設置などもあり、環境が整備されている。 ・特別支援を要する園児には3歳児以降も個別指導計画を策定しており、職員会議などで職員間での情報の共有化を図り、園全体で支援が行えるような体制に努めている。ほかの園児たちとも関わりが持てるように職員が仲立ちをして、無理がない範囲で集団の中で過ごせるような環境作りに努めている。 ・登降園時には保護者へ一日の様子などを報告している。苦手なこと、できたことなど保護者との共有に努めて、保護者と一緒に考えるなどした連携を大切にしている。 ・専門機関などに通所している園児の場合には、専門機関との連携を行って園児に合った対応方法などのアドバイスを取り入れている。また、法人の臨床心理士からのアドバイスなどを受けて職員間での共有化を図っている。職員は定期的な研修などで専門的な知識を学ぶ機会を設けている。 | |

| | |
|--|----------------|
| <p>【A10】 A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p> | <p>b</p> |
| <p><コメント></p> | |
| <p>・長時間にわたる保育を考慮し、幼児クラスは前日にスケジュールを伝えたり、カレンダーに記入するなどして安心感を持てるようにしている。また、乳児クラスには、当日の朝、分かりやすい言葉で活動のスケジュールを伝えている。 ・長時間にわたる保育で、園児たちがゆったりと過ごせるように、落ち着いて過ごせるスペースや遊びの設定をするなどの環境整備に努めている。夕方の合同保育では、異年齢でも安定した環境で過ごせるような活動として、紙芝居や紙人形劇を行っている。 ・保護者の迎えが18時30分を過ぎる場合には補食の提供を行っている。保護者の急な残業時などでも15時までに連絡があれば、補食の対応が可能となっている。15時以降での連絡がある場合でも可能な限り対応を行うように努めている。 ・引継ぎシートや延長保育日誌などにより、連絡事項を含む園児の様子などは延長保育担当と次の日の朝番担当で情報の共有が図れるようになっている。降園時には保護者への報告を行っているが、コロナ禍のため、報告を伝えきれていないことがある。コロナ収束後の対応の検討も含めて園では課題となっている。</p> | |
| <p>【A11】 A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。</p> | <p>a</p> |
| <p><コメント></p> | |
| <p>・就学に向けたアプローチカリキュラムを作成し、年間指導計画に取り入れている。スムーズな就学移行が行えるように、午睡をなくしたり、時計を使用して時間での活動をするなど、園児たちに無理のない範囲で行っている。 ・小学校に慣れてもらうように小学校訪問や手紙のやり取りの交流、運動会を小学校の体育館を借りるなど、小学校に関われる機会を設けている。また、近隣の保育園の5歳児との手紙や作品交換などの交流をし、小学校入学後でも顔見知りになれるような機会を設けている。小学校に提出するために、園児たちの情報を保育要録にまとめて作成している。また、補足情報などは学校の先生に電話などで説明を行うようにしている。 ・保護者との個別面談や懇談会では「就学前に身につけていると良い子どもの姿」などの説明を行い、就学に向けた保護者からの相談を受け、見通しが持てるように努めている。</p> | |
| <p>A-1-(3) 健康管理</p> | <p>第三者評価結果</p> |
| <p>【A12】 A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。</p> | <p>a</p> |
| <p><コメント></p> | |
| <p>・看護ガイドに基づいて、園児たちの健康管理に関するマニュアルを整備しており、毎朝での視診により園児一人ひとりの健康状態の把握をして、引継ぎやミーティングなどで職員間での共有化に努めている。園児の体調変化や怪我などがあった場合には速やかに保護者への連絡を行いつつ、受診が必要な場合には迅速な対応を行うようにしている。 ・法人の保健計画をもとに、手洗い、うがい、歯磨き、風邪予防など園で必要な保育指導をクラスごとに合わせて担任を中心に行っている。 ・保健に関する情報や感染症などの状況は、保健だよりやエントランス掲示板などによって保護者へ知らせている。入園時での説明会や個別面談時に、保護者へ乳幼児突然死症候群の説明を行っている。職員は乳幼児突然死症候群に関しての研修を受講し、日々の保育の際には午睡時にチェックを行い、タイマーで時間を確認しながら園児が仰向けになるように向きを整えている。</p> | |
| <p>【A13】 A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。</p> | <p>a</p> |
| <p><コメント></p> | |
| <p>・年に2回、内科検診と歯科検診を実施しており、毎月、身長と体重測定も実施している。内科検診や歯科検診、身長、体重測定の結果は、その都度、保護者へ報告を行っている。また、毎朝の視診や検温、乳児の午睡後の検温、園児の体調の様子などは健康チェック表に記載して、降園時に保護者への報告を行っている。 ・内科検診や歯科検診により、気になる点がある園児に対しては、嘱託医に相談が行える体制を設けている。また、保護者からの健康に関する相談なども嘱託医による対応ができるようになっている。 ・内科検診や歯科検診の結果は職員間での共有化を図っている。また、日々の保育時においても園児の体調の様子や発熱などは、昼礼ミーティングや申し送りノートにより職員間での共有化に努めている。歯科検診後には、幼児クラスでは歯磨き指導を行い、園児たちに歯磨きの大切さの健康教育を行っている。</p> | |
| <p>【A14】 A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。</p> | <p>a</p> |
| <p><コメント></p> | |
| <p>・入園時での保護者との個別面談では児童調査票とアレルギーに関する内容を提出してもらっている。アレルギーがある園児に対しては、栄養士がクラス担任とは別に個別面談を行ってアレルギー内容の把握に努めている。 ・園におけるアレルギー対応ガイドラインをもとに、医師の診断や個別面談時での内容を通して、アレルギー児対応一覧表を色分けなどの工夫をしながら作成している。アレルギー児対応一覧表をもとに献立表を作成しており、保護者には献立表の確認をしてもらい押印をもらっている。アレルギー児に対しては除去食の提供を行うと共に、専用食器、専用トレイを使用し個別にラップをして、ネームの置き間違いがないように徹底している。給食室と保育室共に声出し指差し確認を行うように努め、その内容はマニュアルにも記載して共有化を図っている。 ・園内ではアレルギーに関する内部研修を実施し、外部研修においては栄養士も受講を行っている。また、懇談会や給食だよりなどでアレルギーに関する説明を保護者に行っている。</p> | |

| | |
|--|---------|
| A-1-(4) 食事 | 第三者評価結果 |
| 【A15】 A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。 | a |
| <コメント> | |
| <p>・園児たちが食に対する関心や興味が持てるように楽しめる食事の工夫を行っている。季節の食材を取り入れた給食や季節の行事に合わせた行事食、冬場はクッキングなどを、栄養士、調理士、保育士で連携しながら行っている。コロナ禍のため、職員が園児たちと一緒にテーブルで食事をとることは行っていないが、食前食後に園児たちとの会話をし落ち着いた食事が行えるように努めている。</p> <p>・園児の身長や体重、日々の様子なども踏まえて、食事量などのコントロールを行って個別の対応をしている。</p> <p>・玄関に給食のサンプルケースを置いたり、SNSで園児たちの食育活動の様子を掲載することによって保護者へ園での食事内容の様子を伝えている。また、必要に応じて保護者へは個別の報告なども行い、給食レシピを配布するなどの対応も行っている。要望に応じて栄養士との個別面談も取り入れている。園児の発達に合わせて食器、食具の大きさを変えており、幼児クラスでは箸の練習なども行っている。</p> | |
| 【A16】 A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。 | a |
| <コメント> | |
| <p>・栄養士や調理士が園児の食事の様子を確認しており、よく食べるものや残食などの嗜好を把握するようにしている。また、その際には園児たちとの会話を行って、献立に反映するように努めている。園児の身長、体重測定結果をもとに栄養管理を行い、献立に反映している。</p> <p>・園の献立は法人からの献立がベースとなっているが、園児たちの嗜好の様子や会話などから園でのアレンジを行って決めている。季節の食材を取り入れた給食や季節の行事に合わせた行事食などにより、季節感が感じられることができるようにしている。食育ボードを活用して園児たちにも分かりやすいような工夫をしている。</p> <p>・地域の食材などの使用を行った際には、園児たちにその説明を行っている。また、今後は神奈川県で有名なけんちん汁を提供する予定となっている。</p> | |

A-2 子育て支援

| | |
|---|---------|
| A-2-(1) 家庭と緊密な連携 | 第三者評価結果 |
| 【A17】 A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。 | a |
| <p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・登降園時での保護者とのコミュニケーションや連絡帳、情報共有アプリの活用、今日の出来事の掲示などで園児の日々の様子や育ちを保護者と共有するように努めている。園だより、クラスだより、給食だよりなど毎月での配布を行って、園児のエピソードや会話の一部分、園での活動内容などを掲載して保護者へ伝えている。 ・年に2回、保護者懇談会や個別面談を実施している。個別面談は保護者からの要望があれば、個別面談期間以外でも常に実施している。 ・保育参観などで園児の育ちや園生活を実際に見ることができるようになっている。コロナウイルス感染防止の対策として、保育参観は1か月間行い、保護者が集中して来園しないように分散した参観で行っている。 ・運動会などの行事はクラスごとで時間を分けて保護者が見学できるようにしている。写真の掲示やSNSの掲載によって園の様子が分かるようにしている。写真は日常の保育をはじめ、行事時などのものを購入することができるようになっている。 | |

| | |
|--|---------|
| A-2-(2) 保護者等の支援 | 第三者評価結果 |
| 【A18】 A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。 | a |
| <p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者が安心して子育てができるように、登降園時での保護者とのコミュニケーションや連絡帳、情報共有アプリの活用により、園児の様子を伝えるようにしている。年2回の個別面談期間以外でも保護者からの要望があれば個別面談を実施しており、食事などの栄養面は栄養士から専門的に応えられるようにし、健康面に関しては必要に応じて法人の看護師に相談して返答が行える体制を設けている。 ・法人内共通の看護師会が発行する保健だよりでは、流行の兆しがある感染症に関する情報や予防方法などを掲載し、園の栄養士による給食だよりでは、旬の食べ物や食事マナーなどの内容を掲載して保護者への情報提供を行っている。 ・保護者の状況によって保育時間が異なることがあるため、保護者からの相談時間も状況に合わせて対応している。相談は、園長、主任、保育士、栄養士と相談内容に応じて行えるようになっており、迅速な対応に努めている。その内容は職員間での共有化を図っている。 | |

| | |
|---|---|
| 【A19】 A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。 | a |
| <p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育ガイドに基づいて虐待に関するマニュアルを整備しており、職員間での共有化を図っている。少しでも虐待の恐れがみられる場合には、直ぐに園長への報告を行って、迅速に行政の家庭支援課や児童相談所などへの報告を行い、連携して対応が行える体制を設けている。 ・毎日の視診をはじめ、園児の仕草、表情、健康状態、身に着けている衣服、不自然な怪我や痣、保護者の言動などを常に確認して園全体での見守りが行える体制を設けている。また、そのような内容がみられた場合には必ず記録をするように努めている。 ・定期的な虐待研修などで職員間での理解と共有に努めている。世間で虐待のニュースなどがあつた場合には、改めて職員会議などで事例検討を行って類似ケースの防止に努めている。また、人権に関する研修や個人情報、接遇に関する研修も実施して全職員が受講できるようにしている。 | |

A-3 保育の質の向上

| | |
|--|---------|
| A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価） | 第三者評価結果 |
| 【A20】 A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。 | a |
| <p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・園での単年度事業計画を策定する際には、職員会議などで職員間での検討を行い、職員の意見なども反映させている。単年度事業計画の振り返り時も同様に行っており、次年度の事業計画に職員の意見が反映されるようになっている。 ・全体的な計画をもとに年間指導計画を策定し、月案、週案、日案の計画も策定している。各計画の策定時には職員間での検討を行っている。また、週案、日案の振り返りはクラス担任ごとで行い、園長や主任が確認を行ってアドバイスや指導などを行っている。月案は毎月でのカリキュラム会議にて振り返りを行い、それをもとに年度の4期ごとの3か月で年間指導計画の振り返りを行っている。 ・職員は、年度初めの4月で、成長支援シートを作成し、園長との個人面談を行っている。年度中間時期の10月でも、園長との個人面談を行い、目標を振り返って自己評価を行っている。4月での個人面談時には前年度の振り返りを行い、それを目標に反映するように努めている。 | |